

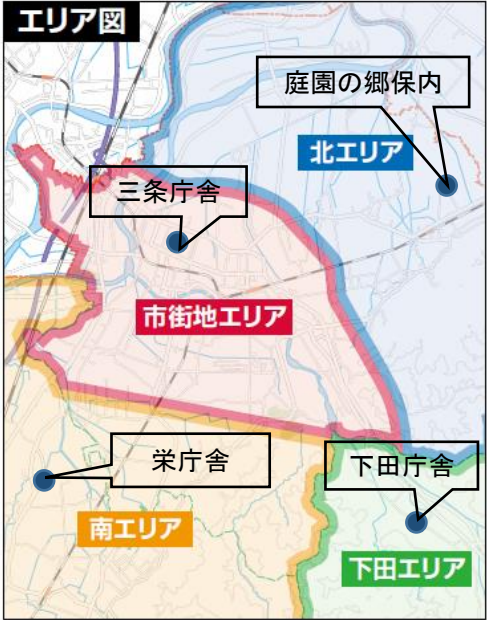
デマンド交通ひめさゆり

「おでかけパス」の全市展開(案)について

1 デマンド交通ひめさゆり 料金体系及び利用状況等(概要)

■料金体系

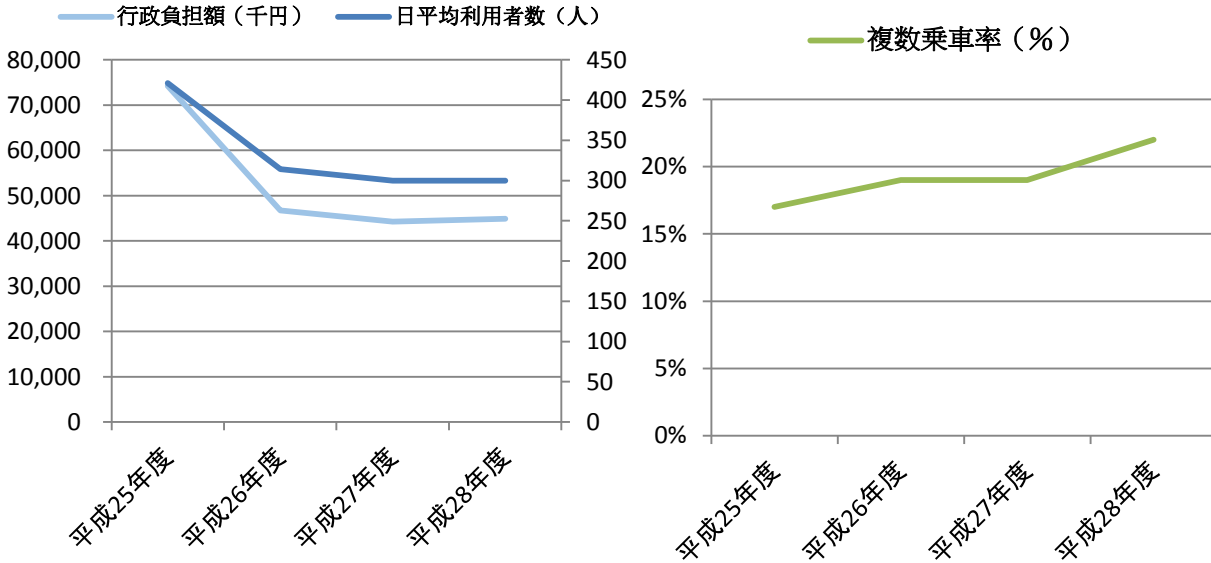
1人乗車料金	
適用範囲	料金
～2km未満	500円
2～3km未満	600円
3～5km未満	700円
5～7km未満	900円
7～10km未満	1,100円
10～15km未満	1,500円
15～20km未満	1,800円
20～30km未満	2,500円
30km～	3,000円



複数乗車料金	
適用範囲	通常料金 (一人当たり)
☐ エリア内の移動 ☐ 北・南エリア⇔市街地エリア (A料金)	400円
☐ 下田エリア⇔市街地・北・南エリア ☐ 北エリア⇔南エリア (B料金)	800円

■利用状況

項目 \ 年度	H25	H26	H27	H28 ※12月現在
平均利用者数(日)	421人	314人	300人	300人
行政負担額	74,206千円	46,695千円	44,281千円	44,887千円 ※見込み
複数乗車率	17%	19%	19%	22%



※平成26年1月から料金値上げ

2 「おでかけパス」社会実験について

「おでかけパス」社会実験（下田エリア）の目的

- 1 遠隔地住民の負担軽減
- 2 中心市街地への誘導（外出機会の増加）による健康寿命延伸
- 3 高齢者運転免許証自主返納の動機づけ
- 4 複数乗車率の向上（本来の公共交通の姿へ）



【社会実験概要】

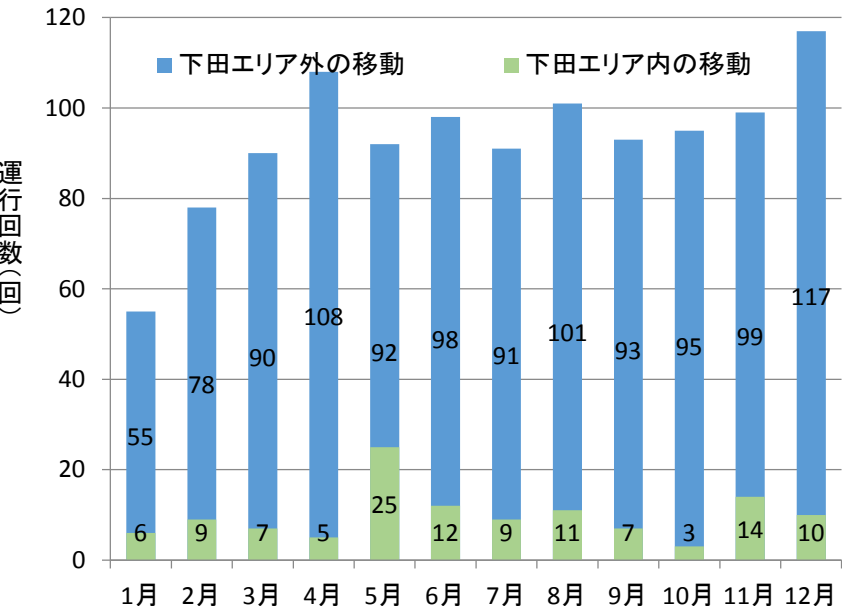
- 1 実施期間 平成28年 1 月 1 日～同年12月31日
- 2 対 象 者 下田地域在住の65歳以上の者
- 3 割引内容 複数乗車時のみ料金を割引
A 料金300円←400円（100円割引）
B 料金500円←800円（300円割引）
- 4 購入料金 1,000円



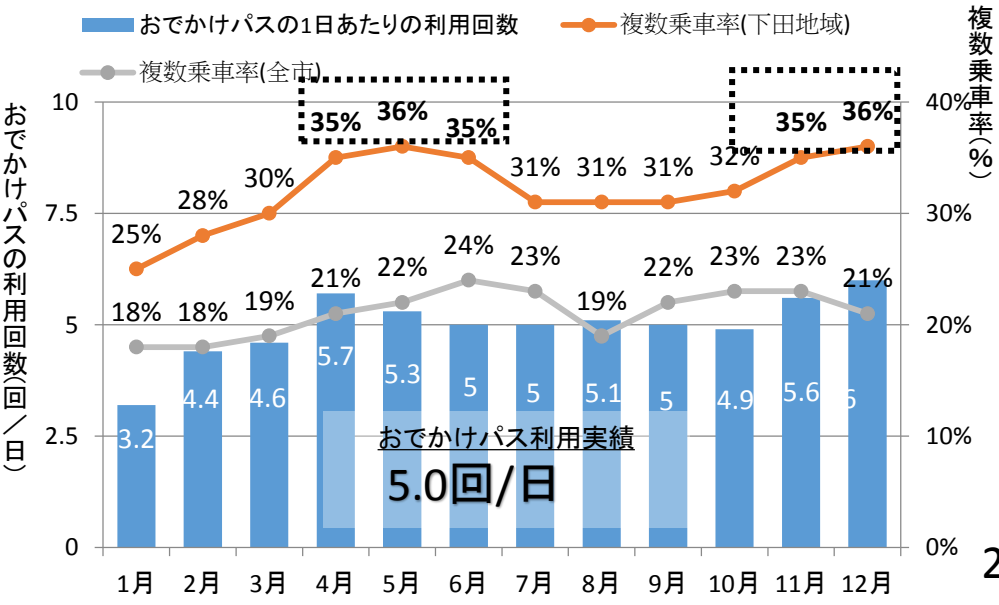
【社会実験結果】

- 1 購入者数 127人（目標：40人）
- 2 複数乗車率 下田地域 32%（前年比8%増）
- 3 一日当り利用回数 5.0回／日
- 4 複数乗車回数 2,295回（前年比435回増）
- 5 エリア内外の移動割合 エリア内10%、エリア外90%
- 6 行政負担額 596,500円（割引累計額）
- 7 協賛店割引利用者数 21人（嵐溪荘他2店舗）

■移動傾向（下田⇄市街地・北・南エリア他、下田エリア内）



■複数乗車率とおでかけパス1日当たり利用回数推移

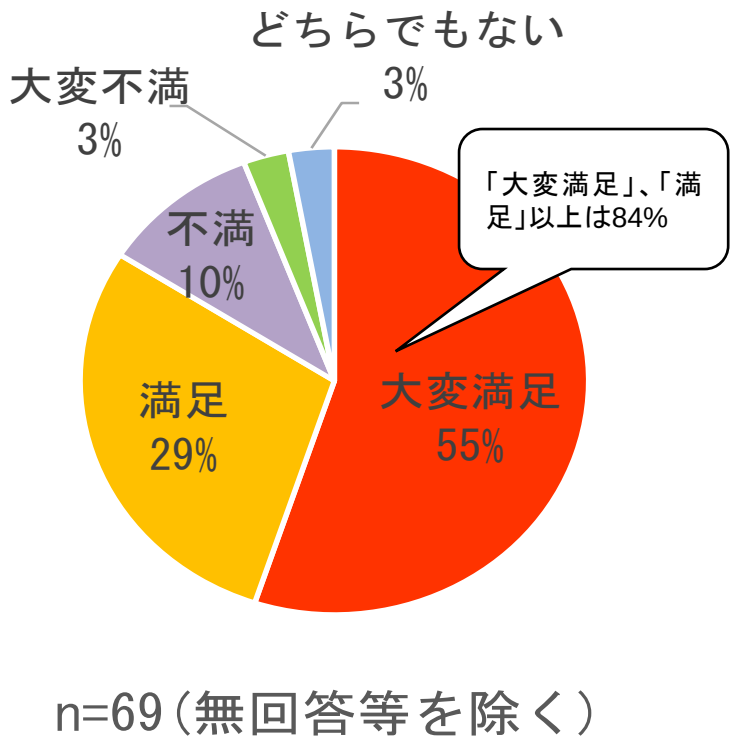


3 おでかけパス 購入者アンケート結果

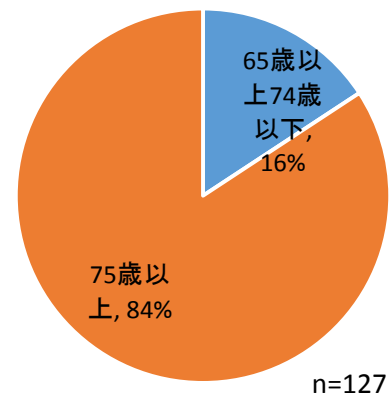
・おでかけパスの満足度は84%となっている。また、利用者年齢は75歳以上が84%となっており後期高齢者の利用が中心。なお男女比は3対7となっている。

■おでかけパス購入者アンケート結果（H29.11実施） ■購入者の属性

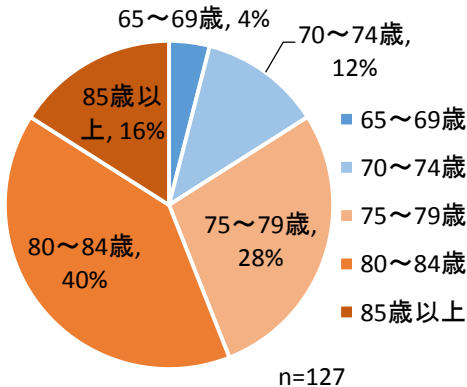
Q 満足度について



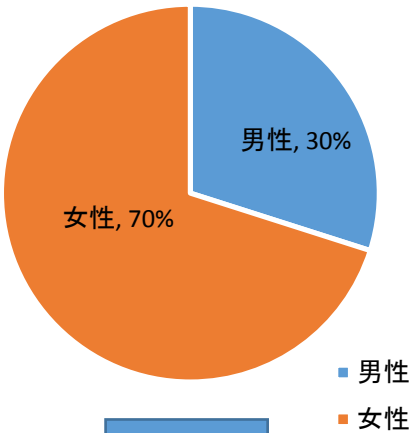
・年齢



内訳



・性別



三条警察署管内の65歳以上運転免許証保有者
(H28.10月末現在) 17,085人
内訳

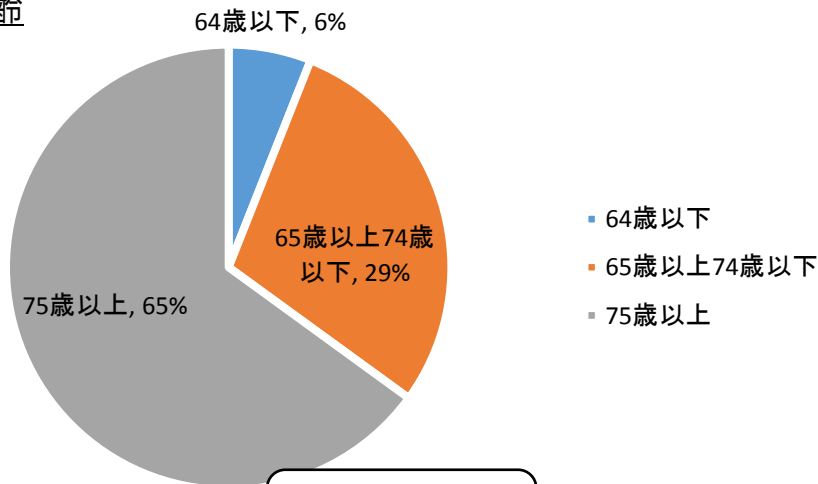
男性 10,561人 (62%)
女性 6,524人 (38%)

・女性は、男性と比較すると運転免許証保有率が低いことから、デマンド交通などの公共交通機関を利用する機会が多いと思われる。

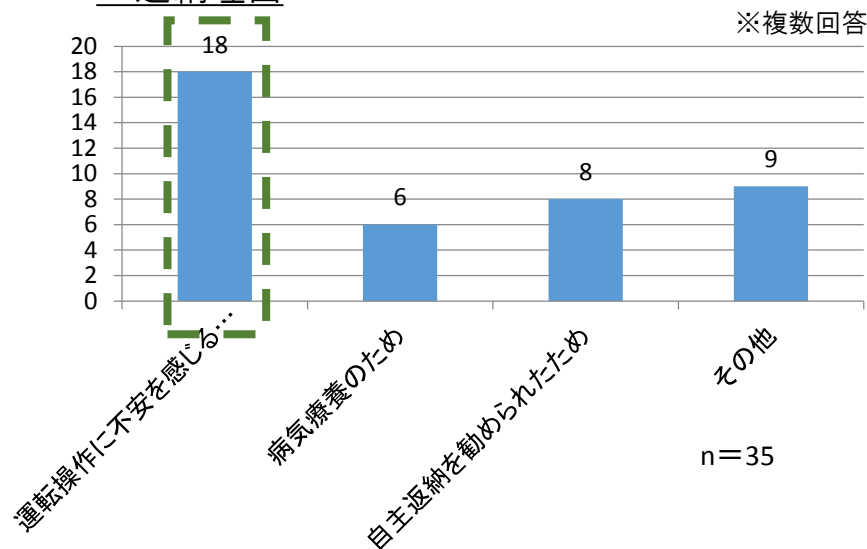
(参考)自動車運転免許証 自主返納者アンケート結果等

・市では三条警察署の協力により平成28年10月から免許証自主返納者にアンケートを実施した。(N=35)
 その結果、返納者の65%が75歳以上(後期高齢者)。返納理由は運転操作に不安があるがトップ。返納後の交通手段はバスよりもタクシーが多い。 ※免許返納者は年々増加傾向

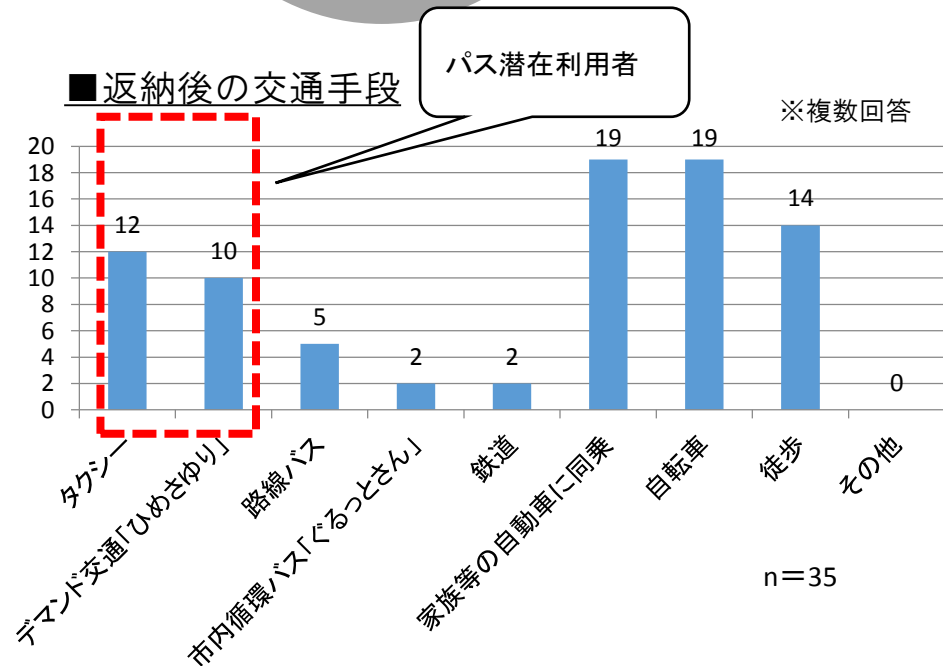
■ 年齢



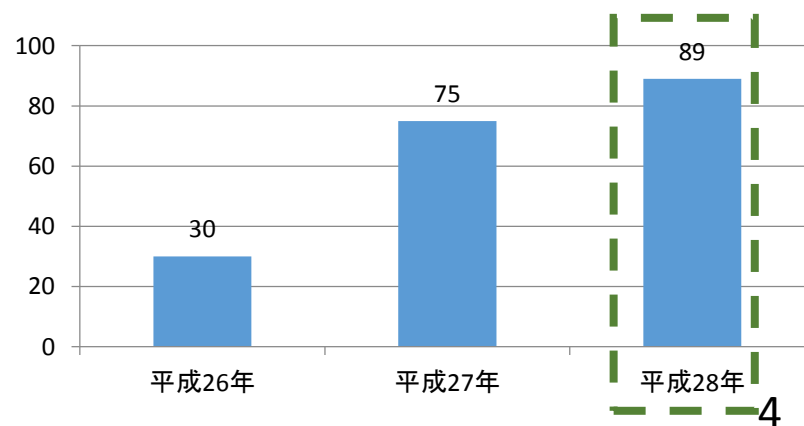
■ 返納理由



■ 返納後の交通手段



【参考】三条署管内免許証自主返納者数(人)



4 おでかけパス全市展開に向けた検討

項目	下田地区(社会実験)	全市展開
1 料金設定	エリア内移動等 300円 ← 400円 エリア外移動等 500円 ← 800円	変更なし
2 対象年齢	65歳以上	変更なし ※運転経歴証明書提示の場合は 年齢不問
3 購入費用	1,000円	変更なし ※有効期限1年(更新可)
4 発行枚数	目標40枚 結果127枚	500枚(初年度)
5 複数乗車率	社会実験前 24% 目標 35% 結果 32%	30%(目標値) ※現状22%
6 優待店舗数	10店舗	100店舗

5 おでかけパス全市展開に向けたスケジュール(案)

平成29年度～

項目	29年2月下旬	29年3月上旬	29年3月下旬	4月	5月	6月	7月	8月
法定協議会	2/17協議会※ 審議承認				協議会開催※ 予算・決算審議		全市展開！	
要綱作成	→	→	→					
タクシー事業者へ協力要請等	→	→	→					
デザイン、更新手続等の検討	→							
パスの販売方法の検討	←	←	→	スーパーなど日用品販売事業者へ個別訪問(営業活動)				
新潟運輸支局への届出	←	←	→					
広報等周知(4月16日号)	←	←	→	↔				
協賛店へ協力要請(4月16日号)			←			→		
パス申請受付準備	←	←	→					
パス申請受付・パス作成				→	→	→		→
パス郵送						→	→	

今後の取組

・地域公共交通協議会で審議・承認を得たのち運輸局へ届出を行う。併せて交通事業者との調整や協賛店の拡大を図り、平成29年7月の全市展開を目指す。